

なきごえ



1970

10

大阪市
天王寺動物園協会

サルの習性

最近小ザルを飼育される方が大変多くなりました。物おじしない小ザルの可愛らしさは格別なのでちょっと飼って見たくなるのは当然なことです。又小ザルの時には家族の一員のようにして飼育するのも、仲々楽しいことだと思います。

サルの七癖とまではいきませんが、犬や猫とは大変異った習性を持っていますので、これらを充分に知っておく必要があります。

第1に便は犬や猫のように1ヶ所に習慣付けることは仲々困難です。犬や猫のような地上生活の動物は自分の住家附近を汚さないように努めます。又、お産の時や幼い子供がいるときは、自分達の居所を他の動物に発見されないために排便は巢の近くにはしないという習性がありますので、しつけを充分にすると室内に飼っても、排便のときは飼主に知らせたり、又定められた箱に排便をしますが、サルの場合、彼らの多くは樹上生活なので、犬や猫のような心配がないので、自由に樹上で排便する習性が身についています。私達の家は樹上生活でないのでこれらのことを仕込むことが大変です。よくパンツなどははかせて飼っているのを見受けます。

第2にジェラシーが強いので、小さな赤ちゃんが何時も自分の欲しいものをもらうので、大人がいない時に、赤ちゃんにイジワルすることがありますので、充分に注意して下さい。

第3、サルが大きくなると餌をやらない主人の云うことはよく聞くのに、毎日餌をやっている私の云うことを聞かなくなった、と云って来られる方が大変多いようです。

これは集団生活をしているサルの習性が現われて来たものです。

遊園地で餌付けられている野猿や、動物園のサル

島のサルの行動をよく観察して見るとわかります。日本ザルの場合短い尻尾をピンと立てたボスザルが通ると、他のサル達は道を開いてボスの行動にさからわないようにします。

私達がサルと共に生活をした場合、餌をやっている奥さんのそばに御主人が近づくと、奥さんの動作はどうしてもご主人に優先権を与えるような行動をします。この様な動作を、サルが観察しているのではなかろうかと思えます。そして物心が付いたサルは、奥さんには若干反抗をしめしますが、主人の大喝一声でしゅんとして云うことを聞くようになります。

これらのことを充分に知っておいて、サルを飼って下さい。サルを飼うには、先づ大きくなったときのことを充分考えて、種類を選んで下さい。

種類の話は又次の機会にゆづります。

(松岡 惠爾)



ニホンザルの親子

なきごえ10月号もくじ

サルの習性.....	2
ボイラーマンと動物園.....	3
動物園グラフ.....	4・5
アフリカの動物たち(講演要旨).....	6
動物園ニュース.....	7

ボイラーマンと動物園

私が動物園に勤務するようになったのは昭和25年4月で、戦後初めて動物園にインドから、3才のゾウが入園してきたときです。戦前にも、もちろんゾウもいて、敗戦まぎわ、空襲がひどくなって逃亡したりするおそれがあるため、ライオン、ヒョウなどの猛獣と同じく皆殺しにされてしまったのです。

当時、動物園には暖房設備といえば、南園にセクションボイラー1基があり、石炭焚きで、ボイラーマンは4人で2交代で勤務していました。昭和26

年に、北園にもチンパンジー、ライオン、トラなどの猛獣が次々と入園し、これに伴ってボイラーマンも8人と増員されました。はじめの間、北園の暖房はストーブを昼夜2時間毎に焚きに廻ったのです。その後2年ほどたつて、北園に休缶のま、だったコルニッシュボイラーを再使用することになりました。このボイラーも古いボイラーのため、3年後には廃缶になり、新たにケワニーボイラーが新設されました。

当時としては石炭焚きであったがストーブを焚きにまわることを思

深夜、ストーブを焚きにまわっていると、周囲を大きな樹木にかこまれてた古びた当時の小鳥舎で、「今晚ワ」という声が出て、思わずドキんとさせられたことがありました。後をみても誰もいないので、小屋を出ようとするすると又、「今晚ワ」という声が出て、頭から冷水をあびせられたようにゾッとしつつ、帰ってあとで聞くと、ものまねキューカンチョウがしゃべったとのことだったり、泥棒や、浮浪者に出くわしたり古くからのボイラーマンは、皆多かれ少かれこんな経験をもっています。その頃は、勤務(24

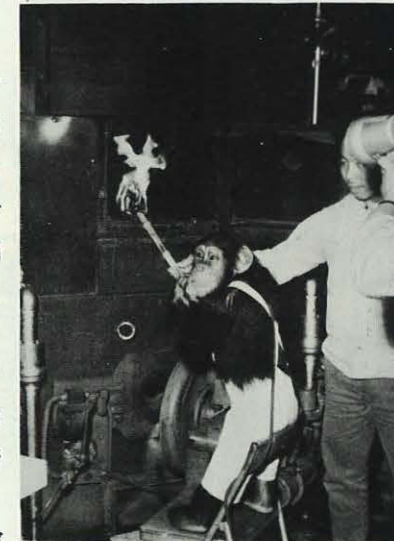
時間勤務)1日2人9時より翌日の9時まで。Z勤務 夜10時から翌日朝7時までの毎夜2人の2交代制、残り1人は6人の休みの交代に入る勤務となっていました。

昭和36年、動物園改造計画に伴って、南園ボイラーは廃止となりました。ゾウは大きくなり日本の寒さにも暖房なしで十分耐えるようになっていましたが、キリンは11月から2月末まで電気暖房するだけになり、ボイラーマンは全員北園ボイラーにかかるのみとなりました。人員も6人となりましたが、従来より熱帯性動物の種類が増え、スチームを送る個

所も増加してきました。その後、動物園も野球場をとり入れたりして大きくなり、戦前のおよそ2倍となりました。

そして、昭和40年には煤煙規制のため石炭をたくのをやめて、重油となり半自動化のボイラーとなりました。こうして動物園の冬の暖房をうけつ重要な役割のボイラーも時代と共に歩んできたのであります。

現在、半自動化されたといっても、常に冬の動物の健康をあずかっているという精神的負担において、何ら以前と変わるところはあり

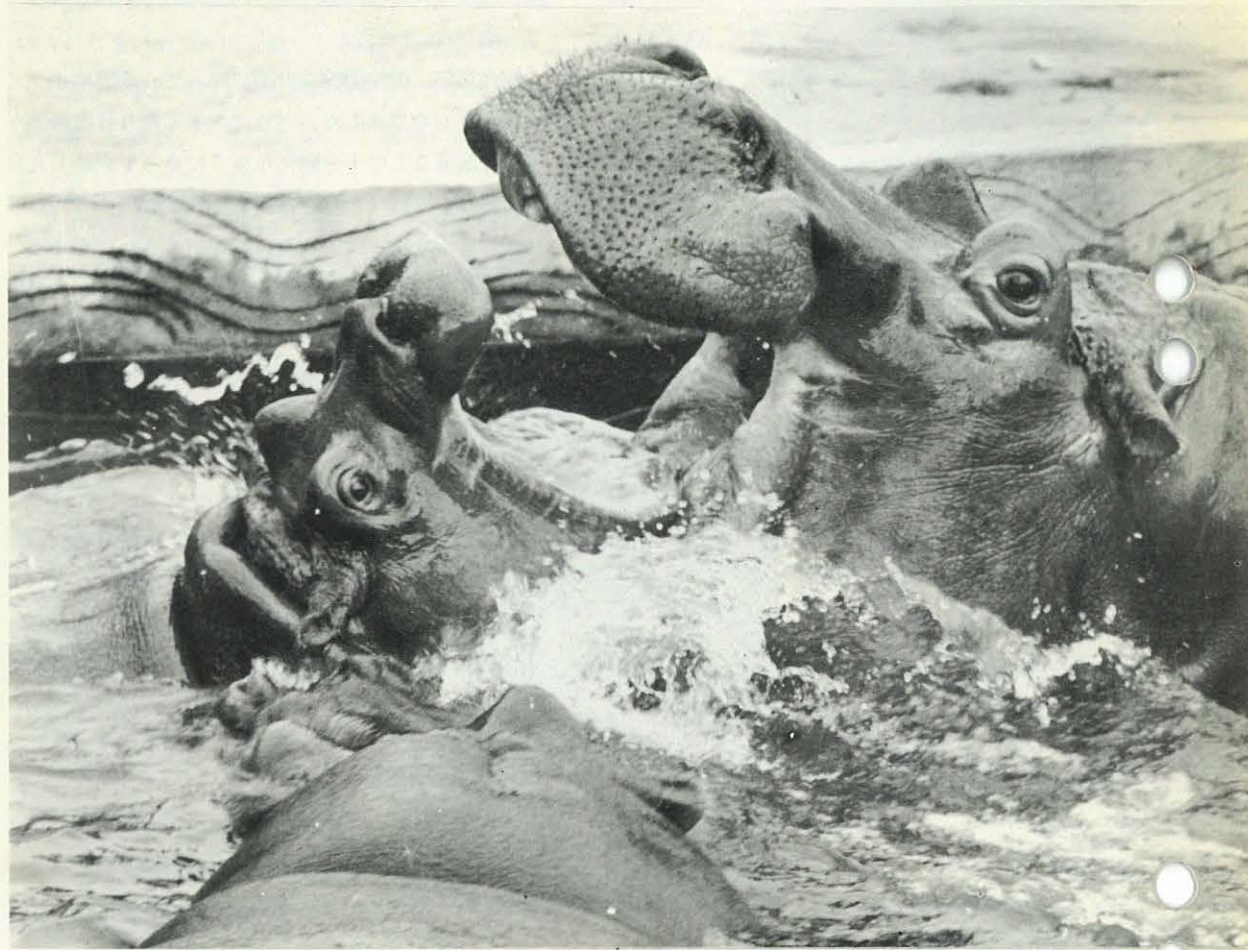


“火入れ式”をするチンパンジー

ません。ボイラーは毎年10月1日に“火入れ式”を行い焚きはじめ翌年4月下旬まで続きます。火入れ式には動物代表が火をかまの中に入れてボイラーの安全操業を神に祈るのです。

夏の間、ボイラーマンはどういう作業しているかといいますと、以前は、園丁作業或は動物飼育などに応援として出ていましたが、昭和33年頃より極地ペンギンが入園し、これを入れるペンギン舎の冷房をする関係で、冷凍機の管理を行うかたわら、園内の施設の溶接作業を行っています。(西田 恒雄)

動物園グラフ



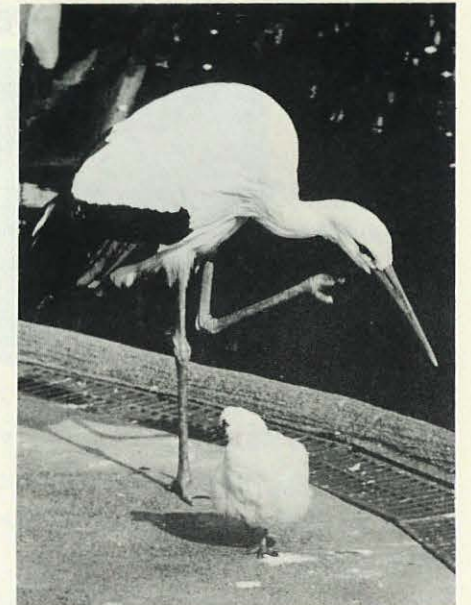
↑ カバの親子

カバの子も、生まれてちょうど1年。
お父さんカバと口の大きさをくらべています。
これがたいへん人気があって、いつもカバ舎の前
はよい子たちでにぎわっています。



↑ アシカ

暑い夏をのりきったアシカは、涼しくなる
とどんどん餌をとりはじめます。
アジをなげてくれるのを首長くしてまっ
ています。



↑ 仲よし

どういうわけか、シュバシコウとシ
ースビル（サヤハシチドリ）が仲がよ
く、一しょに毛づくろいしたり、陽な
たぼっこをしています。
大きな鳥と小さな鳥のすがたが、ユ
ーモラスです。

“食欲の秋”



← ズウ

ゾウも、ますます食べて
大きくなってきました。
仲よく草を食べています。

9月の動物園日記

6. キーウイのペットネームの発表会を行いました。

8. キノボリカンガルーのめすが死にました。貧血症でした。

9. ピューマに赤ちゃんが生まれましたが、翌10日、なぜか母親が

赤ちゃんを食い殺してしまいました。

11. キヨンに赤ちゃんが生まれました。

14. ジャッカルがけんかをしてけがをしましたので、分けてやりました。

23. トコ、ツーカンが1羽死にました。

動物感謝祭が行なわれました。

24. ワシミミヅクやフクロウは道路の水銀灯の強い光で食欲不振となっ
ています。

27. オランウータンの子が感冒にかかって治療しています。

インドヤマアラシ1頭が癌のため死亡しました。

28. 涼しさが急に加わってきました。熱帯の動物もこの温度の急変
にとまどっています。

29. チーターの1頭が病気がちで治療につとめています。

30. キーウイ舎の改造工事にかかりました。

アフリカの動物たち (講演要旨)

ひかりのくに編集部長
辻本修

9月17日、飼育研究会を開催しました。その席上講演された要旨をまとめました。数十枚のカラーライドを使ってのアフリカの動物、植物、風俗、気候などの話は、聴衆者に多大の感銘を与えました。

写真取材をおもな目的に、この夏、東アフリカの赤道を中心に広がる東アフリカのケニア、タンザニア、ウガンダで、あこがれのサハリ(スワヒリ語で旅という言葉だったが、今は動物を見る旅という意味をもっている)を行なった。

カイロからジェット機で8時間のナイロビ空港に降りると、とても涼しい。空港に出迎えてくれた人はセーターを着ている。ナイロビは海拔 1.650メートル。100メートル高くなるごとに気温は一度づつ下がるのだから涼しいのは当然なのだ。東アフリカには四季がない。その代わり雨期(4月～6月と10月～12月)と乾期とがあり、雨期には草が青々と茂り、この草が草食獣たちの腹を満すのである。八つの動物のための国立公園と動物保護区を取材した。

柵(さく)はなく、その地域にいろいろな野獣たちが思うままに住みついているだけなのだ。大きな公園は、わが国の秋田県より広い。毎日午前中の5時間ほどは自動車で公園から公園への移動である。時速100キロ平均で走るが、走っても走っても草原の道が続いている。そして午後2時から6時ごろまでがゲームの時間である。シマウマ、ウシカモシカ、インパラなどはどこにでもいるが、キリン、ゾウ、サイ、ライオン、ヒョウなどはさがさないと見られない。

私がサハリに出て最初に「ジャンボ(スワヒリ語でこんにちわ)」と声をかけたのはシマウマだった。そしてそれはケニアとタンザニアの国境で、キリマンジャロ山のふもとに広がっているマサイ、アンボ

セリ動物保護区の見渡す限り赤土が続いている。その赤土の上である。そのシマウマを見て私は、いろいろな書物にシマウマのしま模様は、林の中でカムフラージュに役立つ保護色だと書いてあったのを思い出した。ところがシマウマは赤土の上か、背だけの低い草が生えている草原に群れているので、しま模様はかえってよく目立ち、カムフラージュの役は果たしていない。私はしま模様は、群れていると一頭のウマの大きさをわからなくしているのだと思う。つまり、このしま模様は敵をあざむくための、ぎまみ色なのだ。今まで現地で実物を見ず、書物などからの知識だけで野獣のことなどを論じていたことが恥しい。まさに「百聞は一見にしかず」である。

公園や保護区にはいろいろな動物たちが驚くほどたくさん、まるでゴマをまき散らしたようである。そして、それらの草食獣をチーターやライオンがねらっている。ライオンなどの食べ残りを、ハイエナやジャッカルそしてハゲタカがねらう。レンジャーの説明をききながら自然の摂理をひしひしと感じた。

キリン、ライオン、カバなどここの野獣たちはすべて動物園のものより大きく、ふとっており、色がとてもあざやかで生き生きしている。これらの野獣は東アフリカの貴重な観光資源で、最近では年間百万人をこえる観光客が世界中から訪れる。そしてその数は加速度的にふえている。アフリカが広いからといってゆだんはできない。

このアフリカの自然はいつまでも残したいものである。

(文責 中川 道朗)

表紙の写真説明

“エゾシカ”

北海道にいるニホンシカの亜種で、体格も一まわり大きい。秋になると角にみがかがかって、白く光ってきます。

☆天王寺動物園児童動物画コンクール 入選者がまきました。

- 1、募集期間 昭和45年7月15日～9月10日
1、応募作品数 787点 17校
1、審査日 昭和45年9月16日
1、入選者 別項のとおり
1、入選作品 昭和45年10月25日～11月8日
1、展示 園内地下道壁面に展示
1、表彰 昭和45年11月8日 午後2時
天王寺動物園事務所にて賞状賞品授与
1学年-148点 2学年-217点 3学年-175点
4学年-46点 5学年-62点 6学年-139点

入 選 者 氏 名 選

学校名	学年	氏名
○ 大阪市立九条小学校	1	もちづきとよひろ
○ 安立小学校	1	おおさわひろゆき
中本小学校	1	きうちひでたか
九条小学校	1	かわいみわこ
安立小学校	1	すがよしむね
○ 阪南小学校	2	清水知子
○ 春日出小学校	2	もりすえ子
〃	2	にわとおる
阪南小学校	2	すがやたみ子
安立小学校	2	大倉典子
○ 中本小学校	3	池田則行
〃	3	金山京子
〃	3	つじさかあつこ
春日出小学校	3	水野克彦
桃園小学校	3	吉岡哲
○ 春日出小学校	4	とびあきひろ
〃	4	ほうわあつし
桃園小学校	4	高橋範子
中本小学校	4	竹沢智子
〃	4	大西隆次
津守小学校	5	宮浦誠
中本小学校	5	日野雅之
〃	5	金山正信
○ 春日出小学校	6	坂上博之
○ 〃	6	大城満喜子
中本小学校	6	文山道夫
〃	6	大垣雅由
津守小学校	6	孫田明美

計 28名

○印は五年生の作品には該当者ありません

☆秋の動物園まつり(全園放し飼い完成記念)

- 1、期 間 昭和45年10月25日～11月23日
1、と ころ 大阪市天王寺動物園
1、主 催 大阪市天王寺動物園
社団法人 大阪市天王寺動物園協会
- 1、行 事
(1) 期間中の日曜・祝日に限る
○小人入場者先着500名におみやげプレゼント
内抽せんにより小鳥(籠付)が当たる
○幼児500名に風船進呈
○チンパンジーの演技
○幼稚園児の演技
○動物無料相談所開設
(2) 10月25日 愛猫の展示会(ベルシャ猫・シャム猫)
%～% 動物画入選作品展示会
%～% 動物の人気投票
%～% 日本鶏の展示会
11月1日 お笑い大会(雪印乳業協賛)
11月23日 こどものためのサクラカラー撮影会

☆キーウィが食べるミミズがほしい。



ミミズの好きなキーウィ

市民は勿論 広島、岡山、鳥取辺りからもたくさん厚意のミミズを贈っていた。夏の間は無事、切り抜けましたが寒くなるにつれてだんだん数が減ってきました。1日500グラムも食べるキーウィのためにミミズを贈ってください。

大阪市天王寺区玉水町2
大阪市天王寺動物園 宛
電 771-8401～2

《入園御案内》

★開園時間及休園

3月～10月 午前9時～午後5時
11月～2月 午前9時～4時30分

◆閉園30分前まで入園券の発売を終ります。

◆12月30・31日のほかは年中無休です。

★入園料(昭和45年1月1日改正)

普通 大人(13才以上) 100円
小人(5才～12才) 20円
団体 30人以上 大人 90円 小人 18円
50人以上 大人 80円 小人 16円
100人以上 大人 70円 小人 14円
◇中学生は小人料金扱
◇5才未満は無料(但し保護者付添のこと)

★駐車場使用料

バス 1台 1回 200円 (2時間まで)
乗用車 1台 1回 100円 (ごとに)

★交 通

市 バス 動物園前下車(南門正面)
地 下 鉄 御堂筋線 動物園前下車
堺 筋 線 恵美須町下車
国 鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分
近 鉄 阿倍野橋下車公園内徒歩10分
南 海 恵美須町駅下車徒歩5分

ペット鳥獣輸入

小獣、大動物 全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円